

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2024 年 11 月 26 日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	アキレス腱延長術の術式の変遷と術後疼痛の変化 ～術後 1 年間の経過を踏まえて～
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	リハビリテーション室 北村健一
研究期間	2024 年 10 月 ～ 2025 年 1 月
対象者	2020 年 4 月～2022 年 2 年間でアキレス腱延長術を実施した歩行可能な脳性麻痺（7 症例 8 脚）家族性痙性麻痺（1 症例 1 脚）患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	脳性麻痺児や筋疾患等による尖足に対し、種々のアキレス腱延長術を行う。足関節背屈時に膝関節伸展位・膝関節屈曲位ともに制限がある場合アキレス腱 Z 延長術、膝関節伸展位のみ制限がある場合に Vulpinus 法を選択する。当院ではアキレス腱 Z 延長術後は 6 週間、Vulpinus 法術後 4 週間はギブス固定を得た後、4～6 週間の集中リハビリテーション入院を実施している。2014 年に第 18 回静岡県理学療法学術大会で当院のアキレス腱延長術後の疼痛部位と疼痛持続期間について報告した。そこで本研究は、過去の研究と比較し、術式の変遷と疼痛期間の変化について調査する。また歩行可能な脳性麻痺児・家族性痙性麻痺児のアキレス腱延長術後、1 年間の足関節背屈角度等の経過を報告する。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査し、共同研究機関に提供します。 ・背景因子（年齢、性別、疾患名など）、 ・術前・術中・リハビリ介入時・リハビリ入院退院時・1 年後の足関節背屈角度、 ・疼痛期間、疼痛部位、 ・術式 提供方法は以下の通りです。 ☐ 直接提供 ☐ 郵送 ☐ 電子的配信 ☐ その他（ ） 各患者さんに識別番号を割り付けて匿名化を行い、情報等の取扱いにはこの識別番号を用います。患者さんとの番号を結び

	付ける対応表は、当院内で厳重に保管し、他施設へは提供しません。 (海外の機関に提供を行う場合は以下の文も記載必要。) なお、あなたの情報は、海外で利用されることもあります。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立こども病院 リハビリテーション室 理学療法士 亀井優多 代表 054-247-6251